

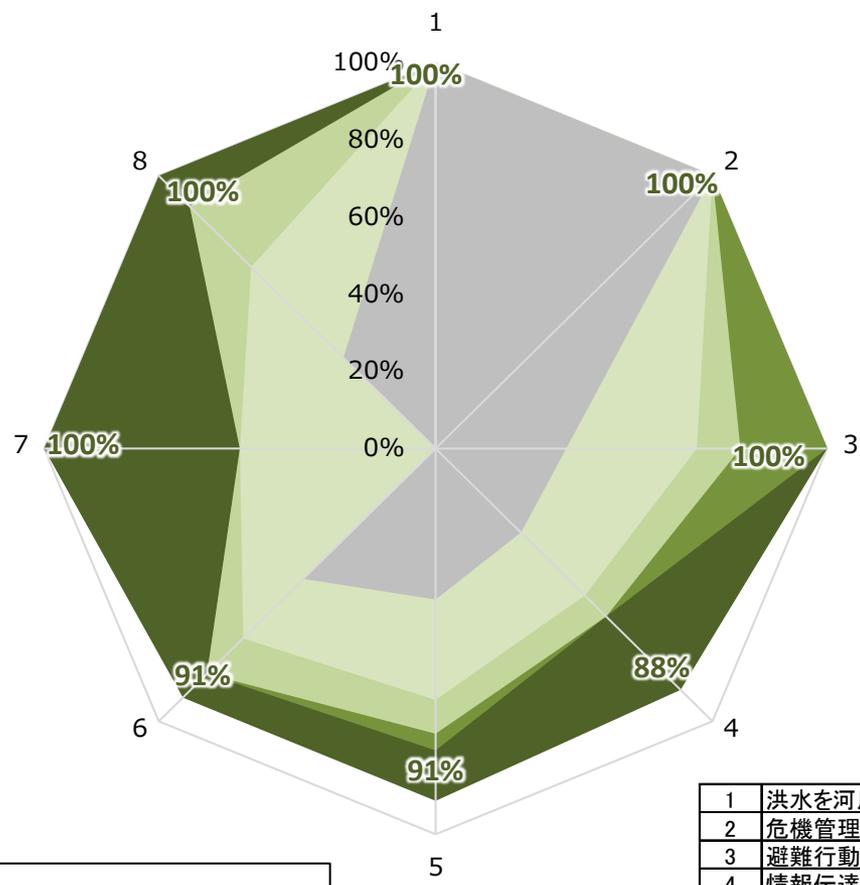
# H28年度～R2年度の取組実績

---

# 留萌川減災対策協議会の令和2年度までの取組状況

- 留萌川減災対策協議会における取組の進捗状況は、**平均で93%程度**となっている。
- 項目別にみると、「情報伝達、避難計画等に関する事項」「平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項」「水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項」の進捗状況が平均を下回っている。

取組項目毎の取組状況



凡例

- R2
- H31/R1
- H30
- H29
- H28

1	洪水を河川内で安全に流す対策
2	危機管理型ハード対策
3	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
4	情報伝達、避難計画等に関する事項
5	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
6	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
7	拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項
8	氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

# 留萌川減災対策協議会の令和2年度時点の取組実施状況

留萌川の減災に関する取組方針 フォローアップ

●取組実施中・実施済、○今後取組予定、■取組不要

大項目	中項目	小項目	留萌開発 建設局	北海道	留萌市	消防	旭川地方 水害防止 協議会	自衛隊	北海道 警察	JR	実施率	
ハード対策の主な取組	■洪水を河川内で安全に渡す対策	堤防整備（経緯地区）	●								100%	
		河道規制（留萌市街地区）	●								100%	
	■危機管理型ハード対策	堤防天端の保護、堤防法長の補強	●								100%	
		住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	●				●				100%	
	■避難行動、水防活動、排水活動に関する基盤等の整備	洪水予報等をフッシュ型で情報発信するためのシステム構築	●									100%
		高齢者に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討			●							100%
		水防拠点の整備（麻山地区）	●									100%
		危機管理型水位計の整備	●	●								100%
		留萌型河川監視カメラの整備	●									100%
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水危険区域図に基づき、避難経路選定の下水域への避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画へ反映	●	●	●							
急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	避難管理上との連携による、車機地連携の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路と道路状の活用を検討	●	●	●	●		●		○	88%	
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	●	●	●	●			○	○	75%	
		各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての市職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し				●						100%
	■平時からの住民等への認知・教育・訓練に関する事項	災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により迅速避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進			●				●	●		100%
		分かりやすい洪水予報伝文への改良	●					●				100%
		気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善						●				100%
		想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等危険想定区域の公表	●									100%
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知			●						●	100%
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまごハザードマップの作成と周知			●							100%
		小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	●	●	●			●	●	●	○	88%
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	●	●	●			●	●	●	○	88%		
コミュニティFM放送やホームページ等を活用した、住民の水防災害講習券のための広報の充実	●	●				●					100%	

留萌川の減災に関する取組方針 フォローアップ

●取組実施中・実施済、○今後取組予定、■取組不要

大項目	中項目	小項目	留萌開発 建設局	北海道	留萌市	消防	旭川地方 水害防止 協議会	自衛隊	北海道 警察	JR	実施率	
社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所への共同点検を実施	●	●	●					○	83%	
		関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施	●	●	●	●				○	86%	
		迅速な水防活動を支えるため、中上流部における一時的な保管方法を検討し、水防設備を充実	●	●	●				●			100%
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る			●	●						100%
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	●	●	●				●			100%
社会経済活動の早期復旧のための浸水被害の抑止、復旧促進等に関する取組み	■浸水の排水、施設運用等に 関する取組み	浸水想定区域内の拠点施設（学校、病院等）に対し水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進			●	●					100%	
		想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	●	●	●				●		100%	
		訓練を通じ、排水ポンプ庫等の災害時の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	●	●	●	●						100%